

TiGRAN 左右兼用枠 上吊り片引き戸施工説明書 (固定タイプ)

A201630

ご使用上の注意

施工される人への危害を未然に防止するためと、ご使用になる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、この説明書をよくお読み下さい。

- 暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにして下さい。
扉の反り、変色などの原因になります。
- 扉に粘着テープでポスターなどを貼らないで下さい。表面が傷む恐れがあります。
- 製品に水、油、殺虫剤などが付着しないようにして下さい。
材質の特性により表面がふくれたり、染み、変色などが発生する恐れがあります。
- 扉の開閉にあたっては、必ず引手を持って操作して下さい。
引手から手を離したり、扉の先端に手を置くと、扉が急に閉まったとき、扉と枠の間で指を挟み、思わぬケガをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。

- 安全のため、破損・変形した扉は、使用しないで下さい。

- 鴨居には、絶対にぶら下がったり、ハンガー等、荷重のかかる物を吊り下げたりしないようお願いいたします。鴨居の破損、又は思わぬケガの原因となる恐れがあります。

■ 施工上の注意

- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率19%以下)を使用し、湿潤材(グリーン材)は使用しないで下さい。壁内の通気が悪く、内部結露が発生する恐れがある場合は、防水処理をしてから施工して下さい。

- 枠の組立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないで下さい。破損の原因になります。

- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ず隙間を作り、かい木を入れて下さい。かい木には、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないで下さい。造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないで下さい。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に必ず防水処理をして下さい。

- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープ等を化粧面に貼らないで下さい。剥がす際に表面が損傷する恐れがあります。

- 発熱燈付近には取り付けしないで下さい。熱により、部品が変形する恐れがあります。

■ 点検・お手入れについて

- 日常のお手入れは乾いた柔らかい布または化学雑巾で空拭きして下さい。
ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは中性洗剤を薄めて固く絞った雑巾で拭き取って下さい。
汚れがひどい場合でも酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤(シンナー・ベンジン)などは絶対に使用しないで下さい。
- 虫害を発見された場合は、直ちに殺虫や防虫処理をして下さい。外部から入ったことも考えられますので放置すると虫害が拡大する恐れがあります。
- 建付け調整は必ず手回しドライバーを使用して下さい。
電動ドライバーを使用した場合は、ビス頭が壊れる恐れがあります。
- 扉の調整で戸車等の調整をした場合は、調整後必ず締め付け、ガタツキが無いことを確認して下さい。脱落の原因になる恐れがあります。
- 使用中に異常を感じられたり不具合が生じたときは、取付部分などの状況を確認して下さい。
ご自身で対処できない場合には、施工業者様にご連絡またはご相談して下さい。

マークの見方

⚠	この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度です。」
🚫	この表示の欄は「してはいけない禁止」内容です。
❗	この表示の欄は「必ず実施して頂く」指示内容です。

お客様へのお願い

弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用頂くためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容をこの施工説明書に記載しております。
施工後は、必ずお施主様に手渡して頂きますようお願いいたします。

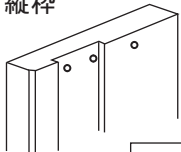
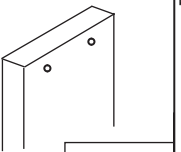
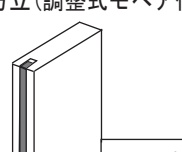
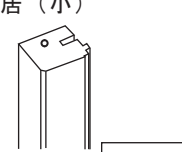
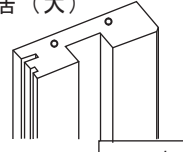
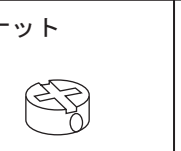
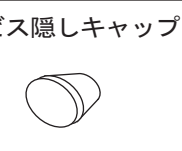
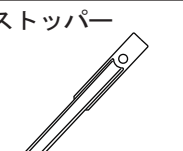
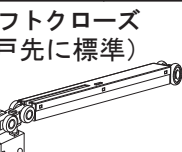
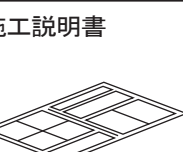
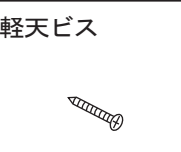
はじめに

※荷物が到着いたしましたら、直ちにキズの有無を確認して下さい。
運送中に発生したキズ等がございましたら、運送業者から事故証明をとり、商品に添えて仕入先へお申し出ください。

※製造上の問題があれば、施工前に仕入先へお申し出ください。

《 施工後は当社では責任を負いかねます。 》

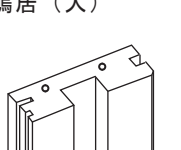
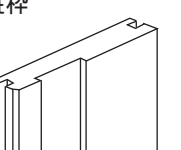
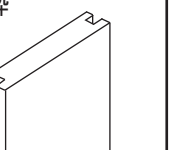
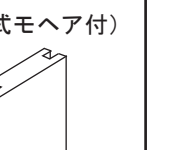
梱包内容の確認 (組立て前に必ずご確認下さい)

縦枠  × 1	片枠  × 1	中方立(調整式モヘア付)  × 1	鴨居(小)  × 1	鴨居(大)  × 1	下部ガイド  ※ビス3本付き × 1
枠組立て取付けビス  × 18	ログナット  × 5	ビス隠しキャップ  × 8	接着剤  × 1	ストッパー  × 1	連結部品  × 3
上部レール  ビス付 × 1	調整付戸車  × 1	ソフトクローズ(戸先に標準)  × 1	トリガー(ビス、取付治具付)  × 1	施工説明書  × 1	軽天ビス  × 3

●別売

ケーシング ※固定枠は不要	1 式
------------------	-----

●ケーシングをご使用の場合

鴨居(小)  × 1	鴨居(大)  × 1	縦枠  × 1	片枠  × 1	中方立(調整式モヘア付)  × 1
---	---	---	--	--

左右兼用枠の仕様説明

当社の鴨居は左右兼用の為、ジョイント式になっております。
鴨居(小)を鴨居(大)の左か右にジョイントすることによって左右を決めることができます。



鴨居(小)を鴨居(大)の左右に取付けることにより、左引き、右引きとなります。
手順 **1** の図①を参考に施工してください。

1 左右を確認してください

❗ ※この段階では、まだ組立てしないでください。

1・下図①を参考に左右を確認してください。

図①

部屋側

鴨居(大)

鴨居(大)

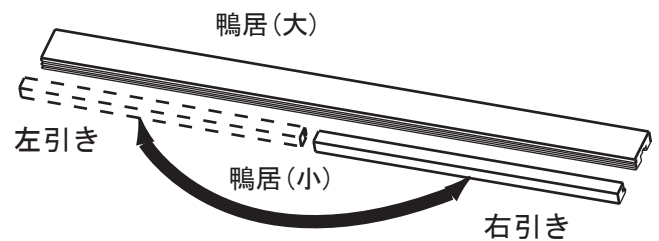
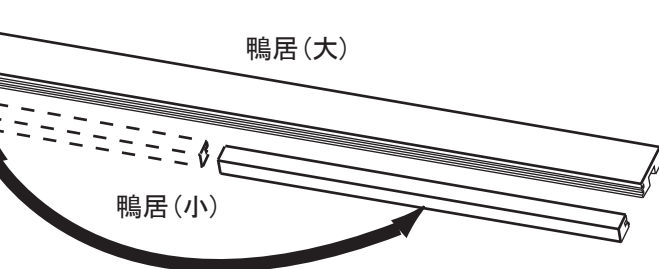
鴨居(小)

左引き

右引き

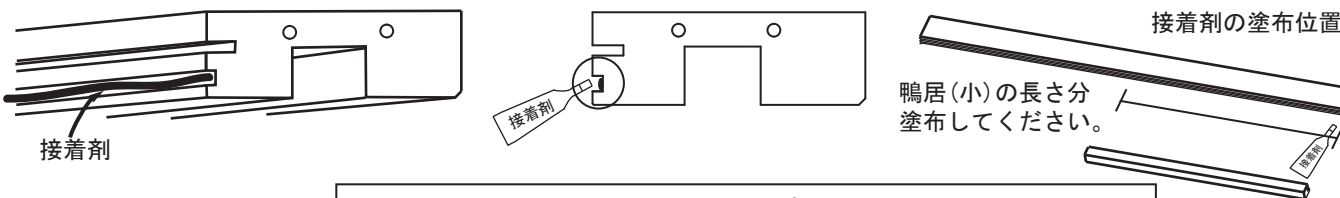
鴨居(小)

廊下側



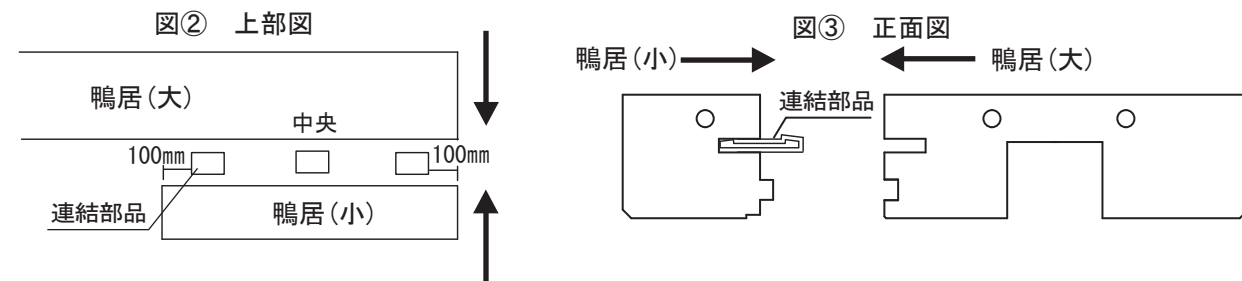
2. 接着剤を鴨居(大)のジョイント部、下図の位置へ鴨居(小)の長さ分、塗布してください。

❗ 接着剤は忘れずに、必ず塗布してください。

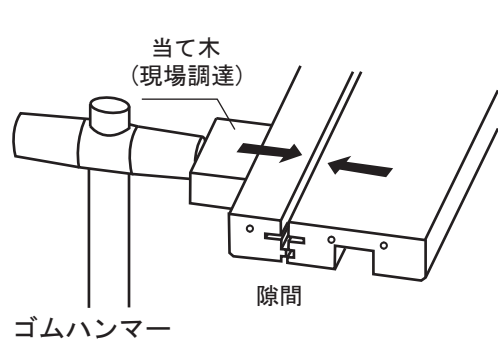
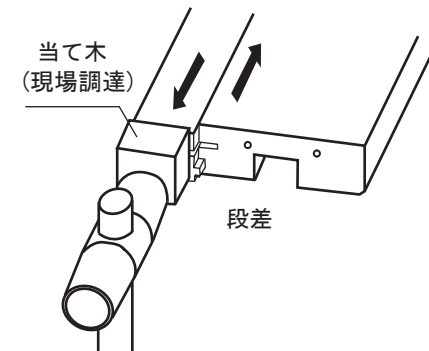


⚠ 接着剤は裏面 **4** の鴨居キャップの取付けにも使用しますので、容量を確認し、使用後は必ずキャップを閉めて保管してください。

3. 連結部品3個を鴨居(小)の図②③の位置、3か所に差し込み、鴨居(大)とジョイントし組立てしてください。



組立ての際、図のようにジョイント部分に隙間や段差が出来ないように組立てしてください。
隙間や段差が出来てしまいましたら、鴨居が破損しないよう、必ず当て木を当て、ゴムハンマー等で叩き、面に調整してください。



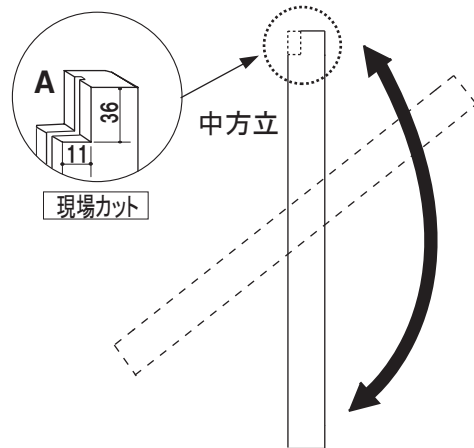
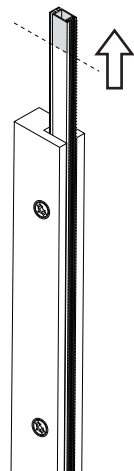
■ 施工手順

- 2** 下図に従い固定用ビスで固定し、フレームを作ります。
※中方立取付の際は必ず通穴をあけてから同梱のビスで固定してください。

1. 中方立てからモヘアを500mm程度引き出し、36mm切り落とします。

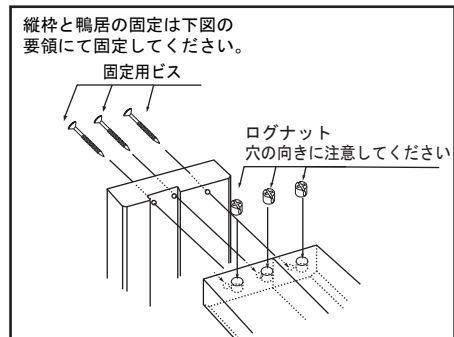
2. 枠は左右兼用になっていますので下図のように反転し、現場で左右勝手を確認し決めて下さい。

❗ 中方立を切り欠く際はモヘアと一緒に切ってしまう様に注意してください。

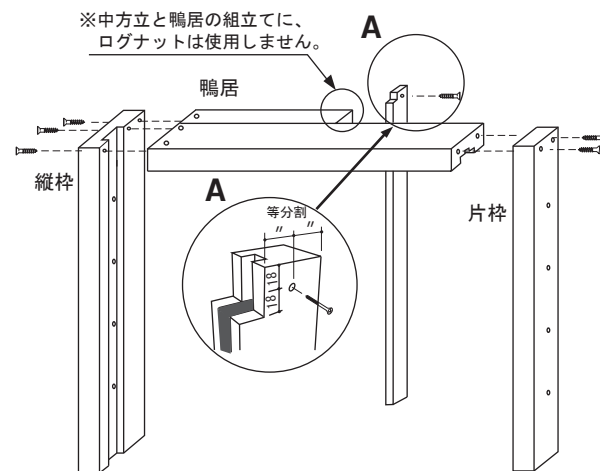
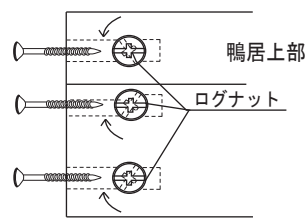


3. 下図に従い組立ビスで固定し、フレームを作ります。

※鴨居の控え壁部分は現場に合わせ、加工願います。
※中方立取付の際は必ず通穴をあけてから、同梱の枠組立てビスで固定してください。



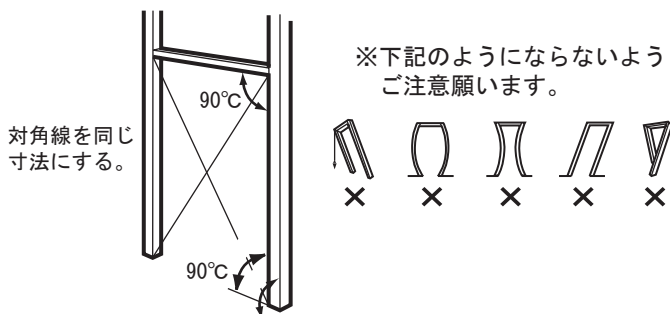
※ ログナットの穴が組み立てビスに合わない場合、ドライバーにて下図のように直してください。



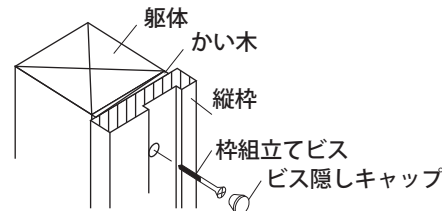
3 枠の取付け

枠を固定前に必ず枠内寸法の確認をしてください。

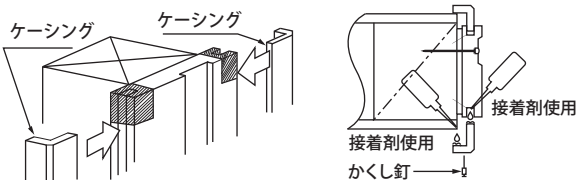
枠の取付の際は、水平、垂直を出し内寸法の狂い、ねじれの無いように施工してください。



枠組立てビスで躯体に固定し、ビス隠しキャップをはめ込みます。



ケーシングご使用の場合
ケーシングを下図に従い取り付けてください。
※ケーシングの取り付けについては、木工用ボンドと針釘を併用してください。



❗ 鴨居には、絶対にぶら下がったり、ハンガー等、荷重のかかる物を吊り下げたりしないようお願いいたします。
鴨居の破損、又は思わぬケガの原因となる恐れがあります。

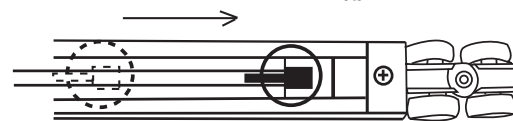
注 意

特注品の場合は寸法を確認の上、施工をして下さい。
不明点がありましたら、必ず弊社営業にお問い合わせ下さい。

4 ソフトクローズの自動復帰

⊖ドライバー等で下図のように矢印方向にクローザーが効く位置まで引いてください。

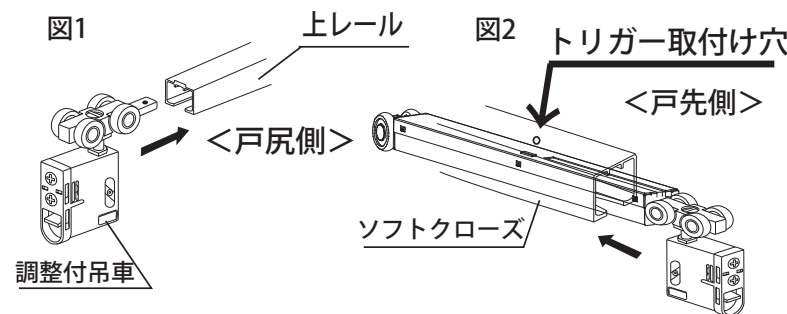
図 ソフトクローズ上部



❗ レールに取り付ける前にクローザーが動作する事を確認して下さい。

・ 吊車、ソフトクローズの取り付け

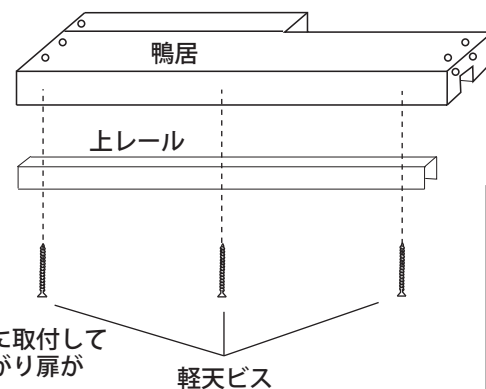
レールを取り付ける前に、下図1、2のよう示す方向で、調整付吊車を上レール内に挿入します。



5 上レールの取り付け

鴨居に上レールを取付け後、付属のビスにて固定して下さい。
右図参照

❗ 鴨居、上レールの垂れ防止の為、鴨居両端と中央部には必ず同梱の軽天ビス (3.5×51) をご使用願います。

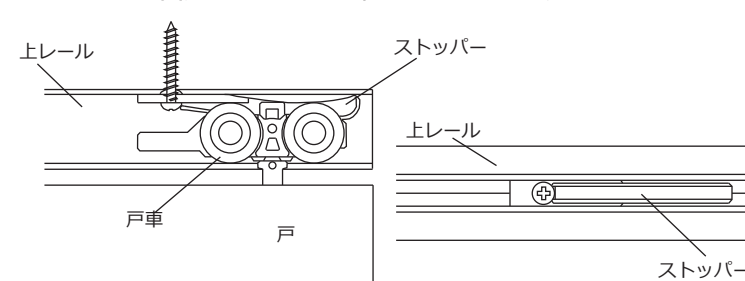


※オプションで戸尻にソフトクローズを取付ける場合、上レール戸尻側にトリガーを固定する為のビス穴を開けてください。

❗ レール取り付けは戸先側を先に入れて固定して下さい。
鴨居戸先から、4ミリほど出ます。
・ レール取り付け後、レール内のゴミ・ホコリを完全に拭き取りをして下さい。 走行不良の原因になります。

6 ストッパーの取付け

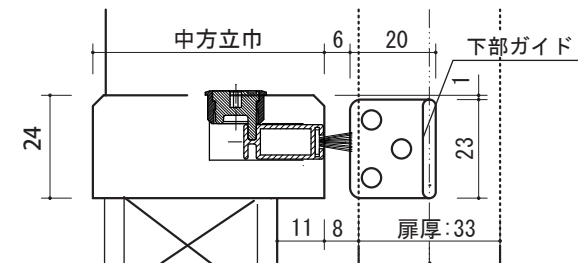
下図のように戸尻側上部レールの端から60mm位置の穴にストッパーを取り付けます。
ストッパーの取り付けをしたらしっかり固定されているか確認してください。



7 下部ガイドの取付け

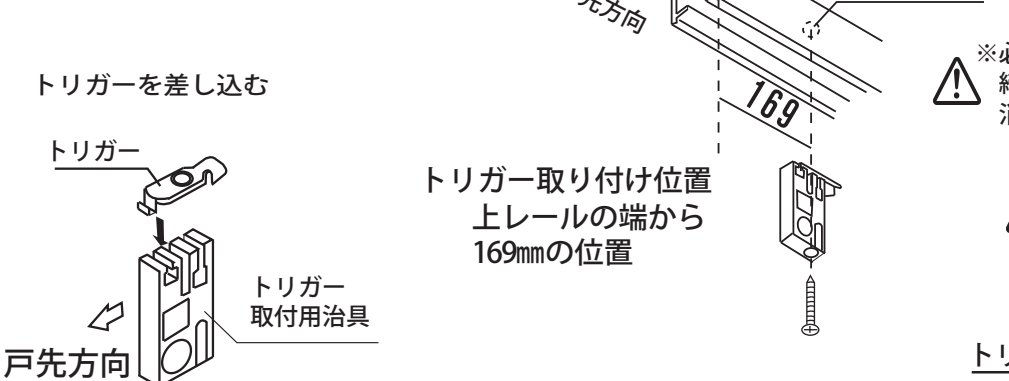
下部ガイドの取り付け

下部ガイドを下図の位置に取り付けてください。
垂直に戸が吊り込めるよう、取り付け位置に注意してください。



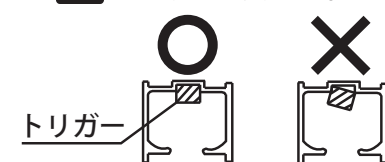
8 トリガーの取り付け

トリガーの向きに注意してを取付用治具にはめ込んでから付属のネジで取付けて下さい。



❗ 必ず手回しドライバーで取付けて下さい。
締め付けすぎると、トリガーが変形し消音ダンパーが機能しなくなります。

❗ トリガーをレールの溝にまっすぐに入れて下さい。

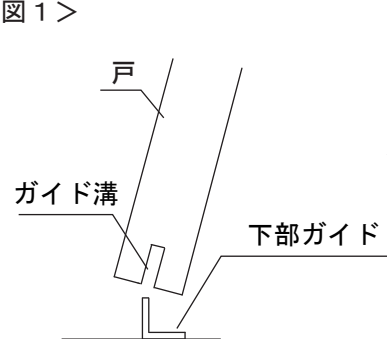


9 戸の吊込み

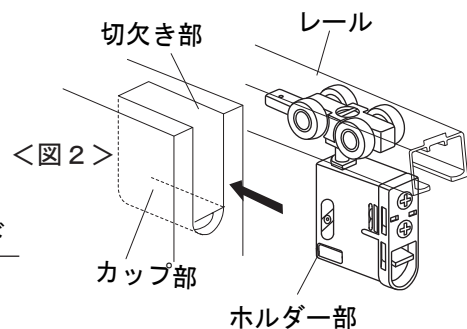
●まず、上吊下部調整ガイドに（戸に加工した）ガイド溝を差し込みます。 ※図1

●次に扉のカップ部に（レールに取り付けた）ホルダー部を差し込みます。 ※図2

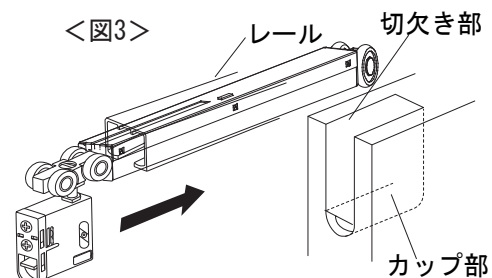
<図1>



<図2>



<図3>

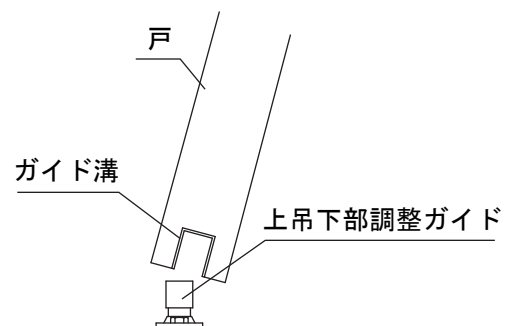


❗ 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んで下さい。

不十分のまま開閉しますと破損の原因となります。 ※図3

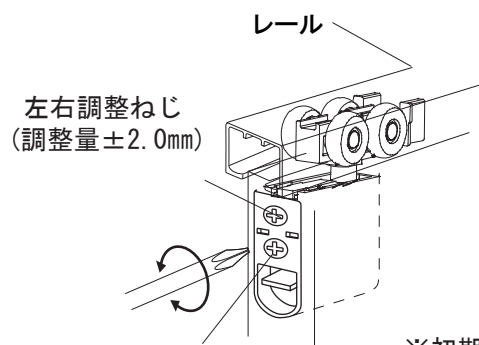
！ 注意

扉デザインがMM・MRの場合、扉の仕様上、下部ガイドが異なります。※右図専用の下部ガイドは、扉の梱包に同梱されておりますのでご注意ください。



戸の位置調整

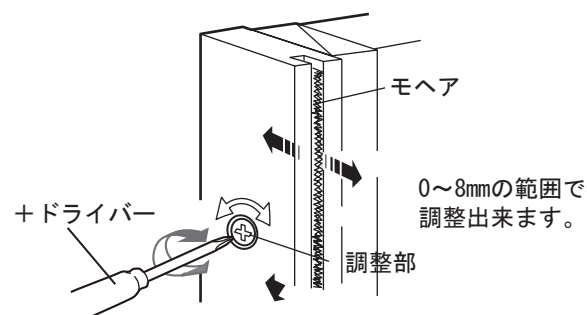
●戸を吊ったままで、ホルダー部の上下調整ねじ、左右調整ねじを回すと戸の上下左右の調整ができます。（調整範囲有り）



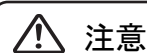
上下調整ねじ
(調整量下に5.0mm)

※初期設定では左右に2mm、下に5mm移動できます。

10 中方立モヘアの調整



0～8mmの範囲で調整出来ます。



注意

モヘアの調整には、+ドライバーをご使用いただき、電動工具は使用しないでください。

扉がモヘアと強く当たる、または扉とモヘアの間から明かりがもれる場合、調整モヘアを左図のように調整してください。（扉本体とモヘア先端は1～2mm程度隙間をあける。）

<右引きの場合>

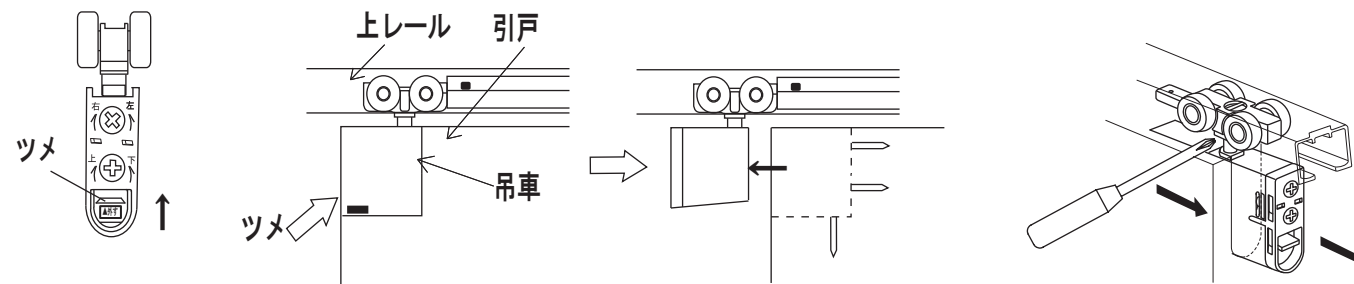
時計回りに回すとモヘアが出ます。
反時計回りに回すとモヘアが引き込みます。
（左引きの場合は、回す方向が逆になります。）

調整付吊車の取外し方

ツメを上へ上げながら引抜いて下さい。

※扉を少し持ち上げながら行くと外しやすくなります。

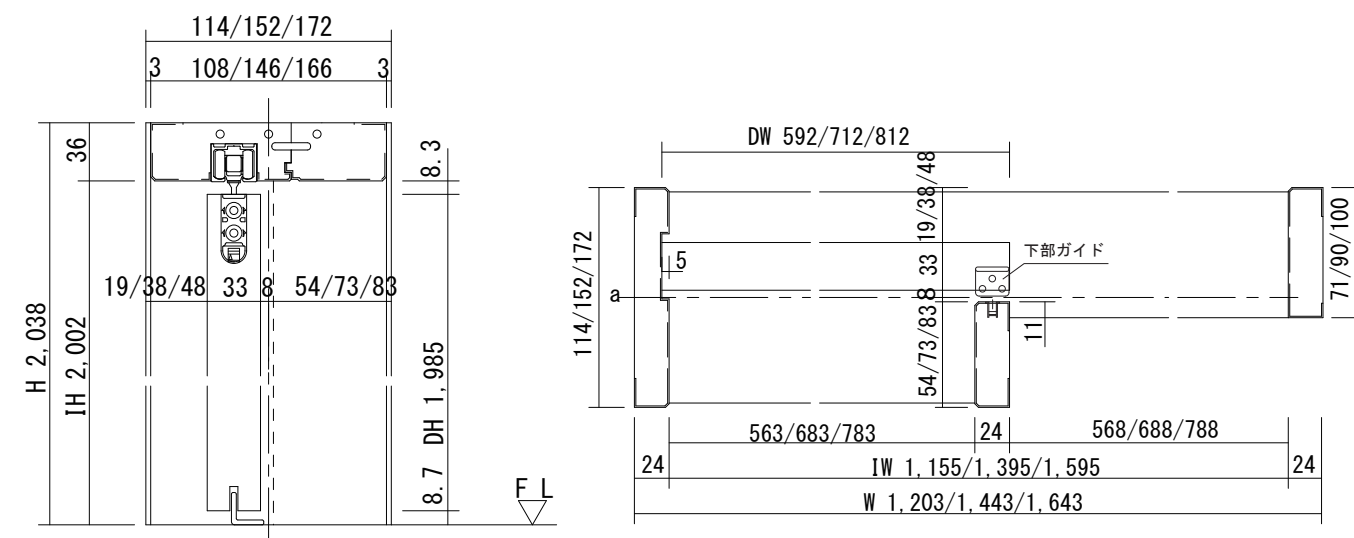
抜けない場合はドライバーなどでローラーを押上げて下さい。



■ 寸法図

上吊り片引き戸

【固定枠】



【ケーシング枠】

